

第四次豊橋市子ども読書活動推進計画後期アクションプラン（概要版）（案）

策定の趣旨

後期アクションプランは、「第四次豊橋市子ども読書活動推進計画」で示した取り組みの基本方針に基づき、令和8年度から令和12年度までの5年間の本市における子どもの読書活動推進に関する具体的な施策を明らかにするために策定する。

豊橋市の子ども読書活動の現況

- 読書が「好き」な子どもは、5年前と比べ小・中学生は減少し、高校生は増加。
- 1か月に1冊も本を読まない子どもの割合「不読率」は、学校段階が進むにつれて増加する傾向。5年前と比べ高校生の割合が減少しており、全国及び愛知県の平均と比べるといずれも低い。
- テレビ・インターネットの普及や子どもの生活の多忙化が読書活動に影響を与えている可能性がある。

前期アクションプランの成果

- 子どもの発達段階に応じた読書体験の提供
 - ・「初めての絵本との出会い事業」により、4か月児健康診査時に絵本を配布
 - ・図書館、生涯学習センター、保育園等でボランティアによる読み聞かせを実施し、子どもたちに読書体験を提供
 - ・図書館ホームページ「こどものページ」を図書館に親しみを感じてもらえるように更新
 - ・中高生に対する図書館の利用促進を図るため、市内中学校及び市内外の高校との連携展示を実施
- 子どもの自主的な読書活動を促進する環境の整備
 - ・児童クラブへの図書貸出の実施
 - ・英語本に触れるきっかけづくりとして、親子向けの多読講座を開催
 - ・バリアフリーサービス周知のため、LLブックや展示絵本、ダイジー図書の展示を実施
- 子どもの読書活動を支える体制づくり
 - ・新たなボランティアの確保及び技術向上を図るため、ボランティア育成講座、研修会を開催



子どもが読書に親しむ機会の充実により、7割以上の子どもが「読書が好き」に。

後期アクションプランへの課題

- 学校段階が進むにつれて読書冊数が減少し、高校生になると不読率の割合が増加する傾向にあることから、中学生までに読書習慣が形成されるよう、前期に引き続き子どもの発達段階ごとの特徴をふまえた読書体験を提供するとともに、読書意欲が低下しないよう、本や読書への関心を高める取り組みが必要。
- 子どもの読書活動の推進は、図書館や学校だけでなく社会全体で行われる必要があり、家庭への啓発やボランティアの育成、関係機関との連携等、継続的に子どもの読書活動を支える取り組みの充実が必要。
- スマートフォンの普及やGIGAスクール構想の開始等、情報環境の変化が子どもの読書環境や学習環境に与える影響を注視し、ICTを活用した読書情報の発信等に取り組む必要がある。

後期アクションプランの基本施策

<基本理念> 読書が好き！と言える子どもの育成

<基本施策と主な取り組み>

基本施策1 子どもの発達段階に応じた読書体験の提供

- 取り組みの柱1-1 乳児を対象にした読書体験の提供
 - ・乳児への絵本プレゼント、乳児向け「おはなし会」の開催等
- 取り組みの柱1-2 幼児から小学生を対象にした読書体験の提供
 - ・日常の保育や教育、地域、図書館での「おはなし会」の開催
 - ・読書週間や夏休みに合わせたイベントの開催等
- 取り組みの柱1-3 小学生から中学生を対象にした読書体験の提供
 - ・学校での「読書の時間」の実施、図書館での「読書感想文教室」の開催
 - ・ICTを活用した読書情報の発信等
- 取り組みの柱1-4 中学生から高校生を対象にした読書体験の提供
 - ・ティーンズ向け情報発信の充実（図書リストの配布、SNSの活用）
 - ・同世代で本をすすめ合える機会の提供等

基本施策2 子どもの自主的な読書活動を促進する環境の整備

- 取り組みの柱2-1 自分で本を選び、読むことができる環境の整備
 - ・図書館、分室、学校図書館における児童図書の整備等
- 取り組みの柱2-2 本を活用した調べものや学習ができる環境の整備
 - ・調べ学習コンクールの開催、授業・学習支援センターとの連携等
- 取り組みの柱2-3 外国語図書が読める環境の整備
 - ・魅力的な外国語図書の収集、外国籍児童向けの読書推進等
- 取り組みの柱2-4 障害のある子どもに対応した環境の整備
 - ・録音図書や児童向け大活字本等、障害のある子どもに対応した図書の整備
 - ・くすのき特別支援学校における読書環境の整備等

基本施策3 子どもの読書活動を支える体制づくり

- 取り組みの柱3-1 家庭への啓発
 - ・保護者向け絵本講座の開催、家庭における読書活動の啓発等
- 取り組みの柱3-2 スタッフの育成
 - ・保育士・保育教諭向けの読み聞かせ技術向上のための研修会の実施
 - ・子どもの読書活動を支えるボランティアの育成と支援等
- 取り組みの柱3-3 関係機関の連携

基本施策ごとの主な目標指標

基本施策1 「赤ちゃん広場」の参加人数	令和6年度	2,406人	⇒	令和12年度	2,500人
基本施策2 図書館の児童図書回転率	令和6年度	2.24回	⇒	令和12年度	2.45回
基本施策3 子ども読書活動関連の研修会参加人数	令和6年度	119人	⇒	令和12年度	140人